

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 1 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域との関係性や災害の時協力体制の構築のためにも、民生委員や老人クラブ、消防団等にも参加を依頼して、多様な意見や情報をサービス向上に繋げることを期待する。	運営推進会議への参加者を増やし、より多くの意見をいただき、サービスの質向上に繋げる。	①運営推進会議の委員だけでなく、利用者や全利用者の家族、地域の方々にも運営推進会議の意味を説明し、参加を呼び掛けていく。	12ヶ月
2	23	利用者一人ひとりの思いや意向を職員間で共有し、ケアに反映させるために、センター方式などを参考に利用者の思いや意向の把握を追記し、職員間で共有して、ケアに反映させることを期待する。	その人らしい生活の実現に向けたケアの提供がプランの中に組み込まれていく。	①日々利用者や家族と接して得た情報や言葉を個別にファイリングしていく。 ②3ヶ月毎に情報収集し、職員間で共有し本人の思いや意向を把握した上でカンファレンスを実施し、プランに組み入れていく。	12ヶ月
3	49	年間行事としての外出だけでなく、事業所周辺の散歩や庭での外気浴など、利用者一人ひとりの希望や体調に合わせて、日常的な外出の取り組みを期待する。	広い駐車場や中庭を活用し、外気浴や体操、周辺の散歩やドライブなどの機会を増やし、日中の活動時間を設け生活の活性化を図る。	①駐車場での外気浴や体操、中庭でのお茶会などを定期的に日課に組み入れていく。 ②週に一度でも散歩やドライブの時間を作り、地域と交流が途切れない環境を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月